

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ④ 観光・まちづくり分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市)	3.4	3.3 進捗度 ・国際医療交流の推進 65% ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 66%	3.4 地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金 ・宿泊施設設置奨励金 等	3.5	<p>・一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューローなどとの連携による広域観光の枠組みを構築したことは高く評価されるが、これを具体的なツアーなどを通して社会実装化していくことが期待される。</p> <p>・インバウンド視点で安全安心となる医療基盤の整備は極めて重要ではあるが、地域への観光貢献を考えると医療目的であっても急を要さず滞在に資するマーケットを選別してプロモーションを行うことも必要。</p> <p>・大阪府南部と和歌山県北部の紀泉地域において観光地域として一体的な取組を進めることと、著名な世界遺産である高野・熊野地域と連携を進めることでは、取組の内容が異なってくる。前者は当地を含むエリア全体としての魅力増加を図ることで、結果的に当地が滞在拠点としての役割を果たす可能性を有するが、後者は高野・熊野地域のあくまでゲートシティとしての役割となり、対象地域への利便性やイメージとしての一体化が施策となろう。施策として両方を進めていくことは当該地域の滞在を増やしていくことにつながるが、この差異について明確に意識しながら、より効果的・効率的に施策を展開することが必要である。</p> <p>・観光資源を有する地域との連携や地域資源の磨き上げの中で多少言及されているが、総合特区の仕組みを活用し、新たな創意工夫を盛り込んだ取組の実施を期待したい。</p>